



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 グンゼ株式会社

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児玉 和

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR室長

(氏名) 富岡 修

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	69,523	9.8	1,478	68.9	1,969	162.2	802	311.3
25年3月期第2四半期	63,313	△5.6	875	43.7	751	18.3	195	△40.7

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,829百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △2,037百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	4.19	4.16
25年3月期第2四半期	1.02	1.01

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	166,472	110,184	110,184	65.3	65.3	567.49
25年3月期	163,328	108,745	108,745	65.9	65.9	561.35

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 108,772百万円 25年3月期 107,600百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	—	—	7.50	7.50
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	139,000	5.0	3,000	75.4	2,900	24.6	1,500	—	7.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	209,935,165 株	25年3月期	209,935,165 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	18,261,227 株	25年3月期	18,251,563 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	191,678,296 株	25年3月期2Q	191,566,926 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 四半期決算補足説明資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年9月30日)における日本経済は、日銀の金融緩和政策やアベノミクスへの期待感から景気回復の兆しが見られたものの、原材料・エネルギーコストの上昇や海外景気の不透明感など予断を許さない状況が続いており、また雇用情勢や所得環境の改善遅れもあり個人消費は回復を実感できないまま推移しました。

このような状況において当社グループでは、最終年度を迎える中期経営計画『Innovation 4S(平成23年度～平成25年度)』の重点戦略である「成長確保」と「体質強化」を両輪として、激変する市場環境への対応力強化に取り組みました。

機能ソリューション事業は、電子部品事業が市況回復を受けて大幅に業績を改善したものの、その他の事業においては、海外経済の減速や主力商品の価格競争の激化などにより苦戦しました。アパレル事業においては、円安や海外労務費高騰によるコストアップなどから厳しい状況が続きました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は69,523百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は1,478百万円(前年同期比68.9%増)、経常利益は1,969百万円(前年同期比162.2%増)、四半期純利益は802百万円(前年同期比311.3%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、原材料価格が高騰するなか、飲料向けやトイレタリーなど生活用品向けの平板収縮フィルムが堅調に推移したものの、野菜向け防曇フィルムは天候不順により動きが鈍く苦戦しました。エンジニアリングプラスチック分野では、半導体関連部材は伸長したものの、OA機器用部材は印刷抑制による消耗品の需要減が続き減収となりました。電子部品分野は、パソコン向け透過型静電容量方式タッチパネルや半製品・フィルム販売が好調で収益性も改善しました。メディカル分野は、中国や欧州での販売が順調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は29,003百万円(前年同期比24.8%増)、営業利益は2,118百万円(前年同期比50.5%増)となりました。

<アパレル事業>

インナーウェア分野では、主力の紳士向けベーシック商品が引き続き低迷しました。生産性の向上による原価改善や固定費削減に取り組みましたが、円安や海外労務費高騰の影響を受け苦戦しました。レッグウェア分野は、プレーンストッキングが引き続き好調で、新トレンドのレギパン(レギンスパンツ)なども堅調でしたが、円安による原価アップを吸収できませんでした。以上の結果、アパレル事業の売上高は34,080百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は453百万円(前年同期比45.9%減)となりました。

<ライフクリエイイト事業>

不動産関連分野は、商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」の「にしまち」リニューアル効果により、引き続き売上高・来街者数ともに好調に推移しました。スポーツクラブ分野は、新規会員獲得キャンペーンの効果により会員数を伸ばしました。以上の結果、ライフクリエイイト事業の売上高は6,803百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は449百万円(前年同期比46.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、166,472百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,143百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金の増加910百万円、有形固定資産「その他」の増加901百万円（建設仮勘定の増加等）、受取手形及び売掛金の増加788百万円、投資有価証券の増加765百万円、流動資産「その他」の増加712百万円（短期貸付金の増加等）であり、主な減少要因は、投資その他の資産「その他」の減少968百万円（長期前払費用の減少等）であります。

負債は、56,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,704百万円増加しました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の増加2,903百万円であり、主な減少要因は、流動負債「その他」の減少1,413百万円（設備関係支払手形の減少等）であります。

純資産は、110,184百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,438百万円増加しました。主な増加要因は、為替換算調整勘定の増加1,262百万円、四半期純利益の計上による増加802百万円、その他有価証券評価差額金の増加573百万円であり、主な減少要因は、配当による減少1,437百万円であります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ910百万円増加し、6,980百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して4,323百万円増加し6,332百万円となりました。主なキャッシュ・インは減価償却費3,089百万円、仕入債務の増加2,354百万円、税金等調整前四半期純利益1,564百万円であり、主なキャッシュ・アウトは法人税等の支払額489百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して1,385百万円減少し3,507百万円となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は機能ソリューション事業の設備投資など固定資産の取得による支出3,327百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,254百万円の支出（前年同期は1,966百万円の収入）となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は、配当金の支払1,427百万円、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの返済による支出989百万円、長期借入金の返済による支出826百万円、主なキャッシュ・インの要因は、長期借入れによる収入1,000百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、平成25年5月14日に発表した平成26年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

有形固定資産の減価償却方法の変更

有形固定資産（平成10年4月1日以降に取得した建物を除く）の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は主として定率法、また、在外連結子会社は定額法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社において定額法に変更しております。

当社グループの有形固定資産の利用状況を検討した結果、耐用年数にわたり安定的に稼働しており、修繕費等の設備維持費用も概ね平準的に発生していることから、設備の物的劣化も年数経過とともに一定に進んでいることが検証できたため、機能ソリューション事業の国内大型投資が概ね完了したことを機会に、国内外の会計処理の統一を図るためにも定額法に変更し、耐用年数にわたって均等に費用配分を行うことが、当社グループの事業特性をより適切に反映できるものと判断いたしました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の減価償却費が501百万円減少し、営業利益は370百万円増加し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ398百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,070	6,980
受取手形及び売掛金	28,736	29,524
商品及び製品	21,281	21,568
仕掛品	6,765	7,330
原材料及び貯蔵品	5,938	5,945
その他	4,672	5,385
貸倒引当金	△9	△15
流動資産合計	73,454	76,718
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	37,591	37,055
機械装置及び運搬具(純額)	14,524	14,331
土地	11,887	11,906
その他(純額)	1,299	2,201
有形固定資産合計	65,304	65,493
無形固定資産		
	1,674	1,569
投資その他の資産		
投資有価証券	11,831	12,596
その他	11,166	10,197
貸倒引当金	△102	△102
投資その他の資産合計	22,894	22,690
固定資産合計	89,873	89,753
資産合計	163,328	166,472
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,990	9,893
短期借入金	4,680	4,946
コマーシャル・ペーパー	11,800	11,200
1年内返済予定の長期借入金	1,911	1,660
未払法人税等	438	651
賞与引当金	1,136	1,116
その他	9,130	7,716
流動負債合計	36,086	37,185
固定負債		
長期借入金	11,647	12,223
退職給付引当金	1,805	1,912
長期預り敷金保証金	4,664	4,495
その他	378	470
固定負債合計	18,495	19,102
負債合計	54,582	56,287

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,064	14,064
利益剰余金	76,700	76,065
自己株式	△7,603	△7,605
株主資本合計	109,233	108,596
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△27	545
繰延ヘッジ損益	57	30
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	△1,261	0
その他の包括利益累計額合計	△1,632	176
新株予約権	268	319
少数株主持分	876	1,092
純資産合計	108,745	110,184
負債純資産合計	163,328	166,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	63,313	69,523
売上原価	46,814	52,712
売上総利益	16,499	16,811
販売費及び一般管理費	15,623	15,333
営業利益	875	1,478
営業外収益		
受取利息	5	13
受取配当金	198	184
固定資産賃貸料	284	261
為替差益	—	340
その他	125	91
営業外収益合計	613	892
営業外費用		
支払利息	81	81
固定資産賃貸費用	260	238
為替差損	213	—
その他	182	81
営業外費用合計	738	400
経常利益	751	1,969
特別利益		
固定資産売却益	4	61
投資有価証券売却益	2	—
退職給付信託設定益	1,673	—
その他	86	—
特別利益合計	1,766	61
特別損失		
固定資産除売却損	38	24
投資有価証券売却損	158	—
投資有価証券評価損	380	—
退職給付費用数理差異償却額	1,300	443
その他	9	—
特別損失合計	1,887	467
税金等調整前四半期純利益	630	1,564
法人税等	532	652
少数株主損益調整前四半期純利益	98	911
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△96	109
四半期純利益	195	802

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	98	911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,470	573
繰延ヘッジ損益	99	△27
為替換算調整勘定	235	1,371
その他の包括利益合計	△2,135	1,917
四半期包括利益	△2,037	2,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,969	2,611
少数株主に係る四半期包括利益	△67	218

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	630	1,564
減価償却費	3,689	3,089
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△722	332
賞与引当金の増減額 (△は減少)	24	△21
受取利息及び受取配当金	△204	△198
支払利息	81	81
固定資産除売却損益 (△は益)	34	△37
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	536	—
退職給付信託設定損益 (△は益)	△1,673	—
退職給付費用数理差異償却額 (△は益)	1,300	443
その他の損益 (△は益)	117	10
売上債権の増減額 (△は増加)	△389	70
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,091	△28
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	213	△134
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,108	2,354
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△105	△252
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△347	△558
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	36	△11
小計	2,227	6,709
利息及び配当金の受取額	203	195
利息の支払額	△84	△83
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△338	△489
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,008	6,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△3,722	△3,327
固定資産の売却による収入	48	101
固定資産の除却による支出	△23	△2
投資有価証券の取得による支出	△644	△62
投資有価証券の売却による収入	92	137
貸付金の増減額 (△は増加)	△727	△324
その他	83	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,893	△3,507

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及び商業・ペーパーの増減額 (△は減少)	4,021	△989
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	△625	△826
配当金の支払額	△1,426	△1,427
自己株式の取得による支出	△1	△2
その他	△1	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,966	△2,254
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	341
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△880	910
現金及び現金同等物の期首残高	6,078	6,070
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	89	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,287	6,980

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前記に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,158	33,903	6,251	63,313	—	63,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76	65	360	503	△ 503	—
計	23,235	33,969	6,611	63,817	△ 503	63,313
セグメント利益	1,407	837	307	2,552	△ 1,676	875

(注)セグメント利益の調整額△1,676百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,922	33,988	6,613	69,523	—	69,523
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	91	190	362	△ 362	—
計	29,003	34,080	6,803	69,886	△ 362	69,523
セグメント利益	2,118	453	449	3,021	△ 1,542	1,478

(注)セグメント利益の調整額△1,542百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

有形固定資産の減価償却方法の変更

有形固定資産(平成10年4月1日以降に取得した建物を除く)の減価償却方法については、従来、当社及び国内連結子会社は主として定率法、また、在外連結子会社は定額法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当社及び国内連結子会社において定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「機能ソリューション事業」で259百万円、「アパレル事業」で58百万円、「ライフクリエイイト事業」で15百万円、「調整額」で37百万円それぞれ増加しております。

4. 補足情報

(1) 四半期決算補足説明資料

2013年度 第2四半期 連結決算概要

(1) 当第2四半期(6ヶ月)の業績等 (単位: 百万円)

項目	当期実績 ('13/4-9)	前年同期 ('12/4-9)	増減 上段()は 増減率
売上高	69,523	63,313	(9.8) 6,209
営業利益	1,478	875	(68.9) 602
経常利益	1,969	751	(162.2) 1,218
税金等調整前 四半期純利益	1,564	630	(148.3) 933
四半期純利益	802	195	(311.3) 607
総資産	166,472	167,974	(△0.9) △1,501
たな卸資産	34,844	38,224	(△8.8) △3,380
固定資産	89,753	90,985	(△1.4) △1,232
純資産	110,184	106,855	(3.1) 3,329
金融収支 (受取利息・配当)	116 (198)	122 (204)	△6 (△6)
(支払利息)	(△81)	(△81)	(0)
設備投資	1,164	1,657	△493
減価償却費	3,089	3,689	△600

<業績概況>

- ・機能ソリューション事業は電子部品事業の市況回復により増収増益
- ・アパレル事業は円安や海外労務費高騰によるコストアップ影響により減益
- ・ライフクリエイト事業は商業施設「つかしん(にしまち)」のリニューアル効果やスポーツクラブの会員数増加等により増収増益

<主たる特別損益>

- ・退職給付費用数理差異償却損 △4億円

<通期予想>

- ・第2四半期累計期間の業績が概ね想定の範囲内で推移していることから、既公表の業績予想から修正していない
- ・年間配当は、1株当たり7円50銭を予定

(注) 自己株式の取得等の状況

	(株数)	(金額)
・取得した自己株式(単元未満株式買取含む)	11千株	2百万円
・処分した自己株式	△1 "	△0 "
・前期末に保有していた自己株式	18,251 "	7,603 "
・当期末に所有している自己株式	18,261 "	7,605 "

(2) 事業のセグメント別業績 (単位: 百万円)

項目	当期実績 ('13/4-9)		前年同期 ('12/4-9)		増減		
	金額	ウエト	金額	ウエト	金額	増減率	
売上高	機能ソリューション	29,003	41.5	23,235	36.4	5,768	24.8
	アパレル	34,080	48.8	33,969	53.2	111	0.3
	ライフクリエイト	6,803	9.7	6,611	10.4	192	2.9
	小計	69,886	100.0	63,817	100.0	6,069	9.5
	消去	△362		△503		141	-
連結計	69,523		63,313		6,209	9.8	
営業利益	機能ソリューション	2,118	70.1	1,407	55.1	711	50.5
	アパレル	453	15.0	837	32.8	△384	△45.9
	ライフクリエイト	449	14.9	307	12.1	142	46.3
	小計	3,021	100.0	2,552	100.0	469	18.4
	消去・全社	△1,542		△1,676		134	-
連結計	1,478		875		602	68.9	

(3) 主要経営指標

項目	当期実績 ('13/4-9)	前年同期 ('12/4-9)	増減
総資産			
営業利益率%	0.9	0.5	0.4
総資産			
経常利益率%	1.2	0.4	0.8
売上高			
営業利益率%	2.1	1.4	0.7
売上高			
経常利益率%	2.8	1.2	1.6
自己資本			
比率%	65.3	62.9	2.4
自己資本			
四半期純利益率%	0.7	0.2	0.5
一株当たり			
四半期純利益円	4.19	1.02	3.17
潜在株式調整後			
一株当たり			
四半期純利益円	4.16	1.01	3.15
一株当たり			
純資産円	567.49	551.50	15.99

(4) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期実績 (13/4-9)	前年同期 (12/4-9)	増減	当期(13/4-9)の主たる内訳
営業活動によるCF	6,332	2,008	4,323	減価償却費 3,089、仕入債務の増加 2,354百万円、税金等調整前四半期純利益 1,564、法人税等の支払額△489
投資活動によるCF	△ 3,507	△ 4,893	1,385	固定資産の取得△3,327
財務活動によるCF	△ 2,254	1,966	△4,221	配当金支払△1,427、短期借入金及びCPの減少△989、長期借入金の返済による支出 △826、長期借入れによる収入1,000
換算差額	341	37	303	
現金及び現金同等物の期中増加高	910	△ 880	1,791	
連結の範囲の変更に伴う増加	-	89	△89	
現金及び現金同等物の期末残高	6,980	5,287	1,693	

(5) 事業部門の設備投資及び減価償却費

(単位：百万円)

項目	当期年間計画			前年通期		対前期増減
	金額	ウエト	2Q累計実績	金額	ウエト	
設備投資	(うち海外)	(1,500)		(240)	(527)	
	機能ソリューション	4,900	51.0	672	3,735	53.9
	(うち海外)	(500)		(55)	(362)	
	アパレル	1,000	10.4	149	916	13.2
	ライフクリエイト	2,400	25.0	203	1,932	27.9
	全社	1,300	13.6	139	346	5.0
減価償却費	(うち海外)	(2,000)		(296)	(889)	
	機能ソリューション	3,000	46.9	1,422	3,783	49.9
	アパレル	1,200	18.8	615	1,635	21.6
	ライフクリエイト	1,400	21.9	695	1,408	18.6
	全社	800	12.4	357	759	9.9
	合計	6,400	100.0	3,089	7,587	100.0

【当期の主要投資計画】

- ・電子部品生産設備 2,100
- ・太陽光発電設備 1,700
- ・プラスチックフィルム生産設備 1,300

(注1) 設備投資額は建設仮勘定からの編入ベース。

(注2) 設備投資額には無形固定資産を含む。

(6) 通期業績予想

(単位：百万円)

項目	当期予想	前年通期	増減 (上段()は増減率)
売上高	139,000	132,373	(5.0) 6,627
営業利益	3,000	1,710	(75.4) 1,290
経常利益	2,900	2,328	(24.6) 572
当期純利益	1,500	△ 1,161	(-) 2,661

(7) 事業の種類別セグメント業績予想

(単位：百万円)

項目	当期予想		前年通期		増減		
	金額	ウエト	金額	ウエト	金額	増減率	
売上高	機能ソリューション	56,900	40.6	49,538	37.1	7,362	14.9
	アパレル	69,100	49.4	69,991	52.5	△891	△ 1.3
	ライフクリエイト	14,000	10.0	13,867	10.4	133	1.0
	小計	140,000	100.0	133,397	100.0	6,603	4.9
営業利益	消去	△ 1,000		△ 1,024		24	-
	連結計	139,000		132,373		6,627	5.0
	機能ソリューション	4,550	72.2	2,813	53.6	1,737	61.7
	アパレル	550	8.7	1,393	26.5	△843	△ 60.5
消去・全社	ライフクリエイト	1,200	19.0	1,044	19.9	156	14.9
	小計	6,300	100.0	5,251	100.0	1,049	20.0
	消去・全社	△ 3,300		△ 3,540		240	-
	連結計	3,000		1,710		1,290	75.4